

酒造現場向け品温管理システム「もろみ日誌クラウド」

温調器との連携機能を追加

～温調器の計測データ自動記録とリモートからの設定変更が可能に～

ラトックシステム株式会社(本社:大阪府、代表取締役 近藤正和、以下「ラトックシステム」)は、酒造品温モニタリングシステム「もろみ日誌クラウド」アプリをアップデート、温調器と連携する機能を追加しました。



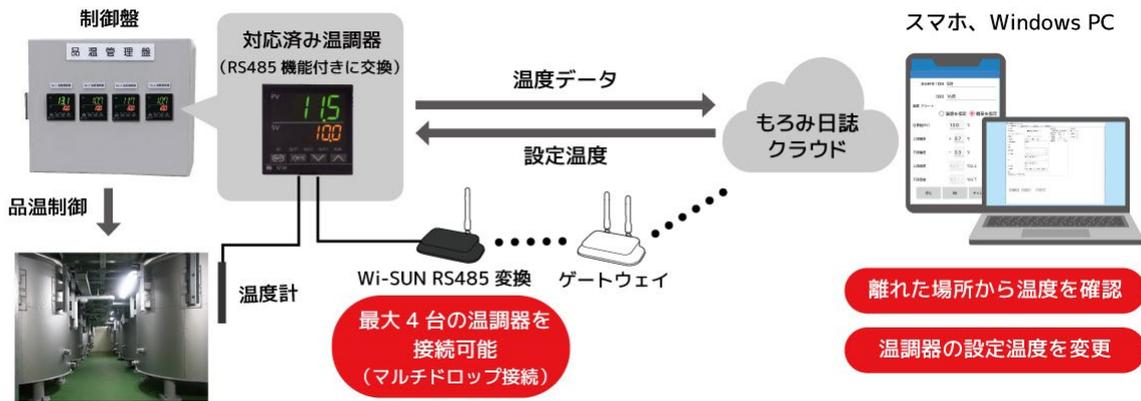
酒造品温モニタリングシステム「もろみ日誌」(ラトック IoT ソリューションサイト)

<https://sol.ratocsystems.com/service/moromi-diary/>

■温調器ともろみ日誌クラウドの連携で実現する機能

それまで蔵まで足を運ばないとできなかった、もろみ、酒母の品温の記録と確認、温度設定が、遠隔地からスマホでおこなえ、品温管理にかかる手間を大幅に軽減します。

1. 温調器で計測した温度(PV)を、自動でクラウドに記録(10分ごと)
2. 温調器の設定温度(SV)を、スマホを使って遠隔で変更可能
3. 仕込の事績管理や帳票作成など、もろみ日誌クラウドで提供する機能が利用可能



■対応温調器

当社指定のモデルは以下のとおりです。

理化工業社 RZ100-MMN*N61/1-DD07、RZ400-MMN*N61/1-DD07

アズビル社 C15TR0RA0300

オムロン社 E5CC-RX2ASM-004

今後、対応機器の拡大を予定しています。



■背景

もろみ日誌クラウドは、品温センサーにてもろみなどの品温を計測し、無線でデータを収集、遠隔からモニタリングできるシステムです。

当社が提供している品温センサーはあとづけで設置できるのが特長ですが、クーリングタンクなどの制御設備を導入済みのお客様からは、品温データを共通化したいという声をいただいていた。また、リモートで品温を確認し、その場で設定温度の変更までおこないたいという要望も多く、この度の機能追加に至りました。

もろみ日誌クラウド

仕込事績管理 品温モニタリング 運用設定 環境設定

仕込設定
 モード 自動計測 手動入力
 計測器選択 量産品③-1
 デバイスアドレス(スレーブアドレス) 1
 容器選択 タンク1
 仕込種別 もろみ 酒母 麹
 仕込名/事績名 夢ごち
 記号 ア
 順序 m-20
 事績開始日 2022/05/12 [15]
 計測開始日 2022/05/15 [15]

警報設定
 温度を指定 偏差を指定
 目標値(SV) 10.0 °C
 上限偏差 + 0.7 °C
 下限偏差 - 0.3 °C
 上限温度 10.7 °C以上
 下限温度 9.7 °C以下
 電池残量通知 %以下

表示時間 1回目 5時
 2回目 16時
 温度アラート
 温度を指定 偏差を指定
 目標値(SV) 10.0 °C
 上限偏差 + 0.7 °C
 下限偏差 - 0.3 °C
 上限温度 10.7 °C以上
 下限温度 9.7 °C以下
 停止 OK キャンセル

PC やスマホから、温調器の設定温度(SV)の変更がおこなえます。

当社は長年 PC 周辺機器、ハードウェアの開発、設計をおこなってきました。もろみ日誌クラウドと温調器をつなぐ Wi-SUN RS485 変換ユニットは、これまでのノウハウを活かしたインターフェイスとなります。

今後は、制御盤、動力盤等の警報信号をスマホに通知する機能も追加予定です。

■導入方法

お客様が導入済みの制御盤に搭載している温調器が、RS485 通信機能付きの当社指定モデルに交換可能であれば、改造にてもろみ日誌クラウドが使用できます。本システムは RS485 マルチドロップに対応しており、ひとつの変換ユニットで温調器 4 台までの接続に対応しています。

制御盤の改造については、対応の可否を含め当社または代理店へご相談ください。



ひとつの変換ユニットに各社の温調器を接続。最大 4 台まで接続可能(マルチドロップ接続)。

変換ユニットは制御盤の中に取り付け可能なコンパクトサイズです(アンテナは外部に引き出す必要があります)。



もろみ日誌クラウドアプリは、温調器をアドレスで識別します。各アドレスに対応するモデルを選択すると、利用可能になります。

■製品概要

もろみ日誌クラウドは、酒造3工程(麴/酒母/もろみ)の品温管理を支援するシステムです。センサーで取得した品温は、事績ごとに自動で記録。蔵まで足を運ばなくても、遠隔からスマホやPCで確認。帳票の印刷までサポートします。品温のほか日本酒度やアルコールなど分析値、状ぼう写真を含めた事績をデータ化、技術の継承に役立てます。

また、冷却水を制御する品温管理機器との連携により、機器で計測した品温を自動でクラウドに記録、遠隔から機器の設定温度の変更までおこなうことが可能です。

■もろみ日誌クラウドのオンラインセミナーを開催

「IoTは酒造りの現場をどう変えるのか」と題した、もろみ日誌クラウドオンラインセミナーを開催いたします。本セミナーでは、品温管理をシステム化することで日常の作業がどう変わるのか、実際にもろみ日誌のデモを交えてご紹介します。

参加費は無料。複数の候補から、ご都合のよい日時を選んでいただけます。今後も随時、開催日の追加を予定しています。

開催日時:2022年6月9日(木)、6月23日(木)、7月7日(木)、7月21日(木)
時間:各日 14:00~14:30、16:00~16:30

オンラインセミナーのご案内とお申し込み

<https://sol.ratocsystems.com/seminor/moromi2022/>

【無料】【もろみ日誌クラウドオンラインセミナー】

IoTは酒造りの現場をどう変えるのか



この度、ラトックシステムでは、IoTで酒造りを支援する「もろみ日誌クラウド」のオンラインセミナーを実施します。

セミナー内容

日本酒は酒造りの中でも大量生産や自動化が難しく、職人は昼夜を問わず多くの作業をこなしながら経験に基づいた判断をおこなっています。

■ラトックシステムについて

設立:1983年10月13日

代表取締役社長:近藤 正和

所在地:大阪府大阪市西区南堀江 1-18-4 Osaka Metro 南堀江ビル 8階

URL: <https://sol.ratocsystems.com/> (法人様向けサイト)

事業内容:

パソコン・スマートフォン関連のハードウェア、ファームウェア、アプリをワンストップで開発、販売しています。IoT デバイス開発と AWS クラウド連携によるシステムづくりを強みとし、自社システムのほか、お客様システムへの組み込み需要にも応えています。

■関連 URL

酒造品温モニタリングシステム「もろみ日誌」(ラトック IoT ソリューションサイト)

<https://sol.ratocsystems.com/service/moromi-diary/>

■本システムに関するお問い合わせ先

ラトックシステム株式会社 東京支店 コーポレート・ソリューショングループ

住所: 東京都中央区日本橋箱崎町 18-11 COSMO 8 6階

電話: 03-5847-7600

メールフォーム: <https://sol.ratocsystems.com/contact/>

■報道関係の方のお問い合わせ先

ラトックシステム株式会社 広報 大塚

住所: 大阪府大阪市西区南堀江 1-18-4 Osaka Metro 南堀江ビル 8階

電話: 06-7670-5056

メールフォーム: <https://www.ratocsystems.com/mail/press.html>